

# 安全データシート

## (SDS)

### 製品及び製造者情報

製造者名 一般社団法人日本粉体工業技術協会  
住 所 〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町1-8-1  
第5キョートビル7階  
担 当 部 署 粉体工業技術センター 製造事業部門  
電 話 番 号 075-354-3583 F A X 番 号 075-352-8530  
E - m a i l : testpowders@appie.or.jp  
連 絡 先 同上

作 成 日 2015年 9月 18日  
改 訂 日 2025年 6月 18日

製品名（化学物質名） JIS 粒子径測定装置検定用粒子（ガラスビーズ）  
MBP 10-100、MBP 3-30、MBP 1-10

### 危険有害性 [GHS分類]

| 物理化学的危険性     | 分類     |
|--------------|--------|
| 火薬類          | 該当しない  |
| 可燃性ガス        | 該当しない  |
| 可燃性・引火性エアゾール | 該当しない  |
| 酸化性ガス        | 該当しない  |
| 高圧ガス         | 該当しない  |
| 引火性液体        | 該当しない  |
| 可燃性固体        | 該当しない  |
| 自己反応性化学品     | 分類できない |
| 自然発火性液体      | 該当しない  |
| 自然発火性固体      | 分類できない |
| 自己発熱性化学品     | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品    | 分類できない |
| 酸化性液体        | 該当しない  |
| 酸化性固体        | 分類できない |
| 有機過酸化物       | 該当しない  |
| 金属腐食性物質      | 分類できない |

| 環境に対する有害性      | 分類     |
|----------------|--------|
| 水生環境有害性 短期（急性） | 分類できない |
| 水生環境有害性 長期（慢性） | 分類できない |

| 健康に対する有害性        | 分類区分   |
|------------------|--------|
| 急性毒性（経口）         | 分類できない |
| 急性毒性（経皮）         | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ガス）      | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：蒸気）      | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性        | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性  | 分類できない |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性    | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性         | 分類できない |

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 発がん性               | 分類できない          |
| 生殖毒性               | 分類できない          |
| 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） | 分類できない          |
| 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） | 第3種（溶融固化物として判定） |
| 誤えん有害性             | 分類できない          |

## ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語：危険



## 危険有害性（一般事項）

- 危険性：床にこぼれた場合、舞い上がる恐れがある。不燃物で可燃性・爆発性はない。  
粒子が眼に入ると眼球に刺さることがある。
- 有害性：長期にわたる、あるいははん復ばく露による呼吸器障害の可能性がある。  
ばく露するとがんの発生率が増加する可能性がある。

## 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区分：単一製品
- 化学名又は一般名：バリウム-チタネートガラス
- 化学成分及び含有量：バリウム-チタネートガラス 100%  
(注 ガラスは化合物ではなく、溶融固化物である)
- 官報公示整理番号：なし
- CAS No.：なし

## 応急措置

- 目に入った場合：こすらないで清浄水で洗眼する。痛みがある場合は医師の手当を受ける。
- 皮膚についた場合：特に問題なし。払い落として水道水で良く洗う。
- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移り休憩する。気分が悪い場合は医師の診断を受ける。
- 経口摂取した場合：衛生上問題はないが、よくうがいをする

## 火災時の措置

- 消火方法：本品は燃えず、反応もしない。粉じんの飛散に注意が必要である。
- 消火剤：各種消火剤を使用しても問題なし。
- 保護具：特別な保護処置は不要、状況に応じて空気呼吸器、保護衣などを着用する。

## 漏出時の措置

- 人体の保護：漏出場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。床などにこぼれた場合は滑りやすく、ダストが舞い上がることもあるので、速やかにモップなどで除去・回収する。
- 保護具：必要に応じて、保護メガネ、防じんマスク、手袋を着用する。
- 環境に対する注意：清掃に使用した水への混入により、外部土壌、河川に漏出しないようにする。

## 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：流動しやすいので、容器を破損しないように注意が必要である。  
必要に応じて保護メガネ、防じんマスクを着用する。
- 保管：容器を密封し、常温で乾燥した屋内に保管する。

## ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度：3.0 mg/m<sup>3</sup>
- 許容濃度：第3種粉塵 吸入性粉塵 2.0 mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵 8.0 mg/m<sup>3</sup>

設備対策 : 発じん場所には局所排気を設け、周りにこぼれないよう囲いをする。  
局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。  
保護具 : 呼吸用保護具 : 状況に応じ防じんマスクを着用する。  
保護眼鏡 : 状況に応じ防じん保護眼鏡を着用する。  
保護手袋 : 保護手袋を着用した方がよい。  
保護衣 : 特に必要ない。

---

#### 物理／化学的性質

外観等 : 白色、粉体、無臭      粒子密度 : 4.0 ～ 4.2 g/cm<sup>3</sup>  
軟化点 : 約 1100℃  
溶解度 : 水、有機溶剤に不溶、フッ酸、アルカリに一部溶解。

---

#### 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 熱・光・衝撃に安定、引火性及び爆発性はなし。  
反応性 : フッ酸、アルカリに浸食される。  
混触危険物 : フッ酸、強アルカリ

---

#### 有害性情報

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 急性毒性               | : 分類できない          |
| 皮膚腐食性/刺激性          | : 分類できない          |
| 眼に対する重篤な損傷/刺激性     | : 分類できない          |
| 呼吸器感作性又は、皮膚感作性     | : 分類できない          |
| 生殖細胞変異原性           | : 分類できない          |
| 発がん性               | : 分類できない          |
| 生殖毒性               | : 分類できない          |
| 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） | : 分類できない          |
| 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） | : 第3種（溶融固化物として判定） |
| 吸引性呼吸器有害性          | : 分類できない          |

---

#### 廃棄上の注意

一般産業廃棄物として処理できるが、飛散防止処置をしたうえで地方自治体の基準に従う。

---

#### 輸送上の注意

運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。  
国連番号 : なし  
国連分類 : なし

---

#### 摘要法令

労働安全衛生法 : 粉じん障害防止規則第2条第3号、別表第1（粉じん作業）  
じん肺法 : 第2条第3号、別表（粉じん作業）  
PRT法 : 該当なし  
毒劇物取締法 : 該当物質の含有 なし

---

#### その他

##### 参考文献

- ・労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質一覧  
（令和7年（2025年）4月1日施行分）（令和8年（2026年）4月1日追加分）
- ・JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法（2019）
- ・JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，  
作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（2019）
- ・日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告（2024年度 日本産業衛生学会）

[記載事項の取り扱い]

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。また、このSDSは、現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもってなんら保証するものではありません。  
ここに記載してある注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

---

以上（全4頁）